

ケイ オウ ザクラ

# サクラ「啓翁桜」切り花の 年末年始需要に向けた出荷技術を開発

サクラは、卒業や入学シーズンに開花する花として、私たちに大変なじみ深いものです。切り花としても、春のさきがけとして出荷され、消費者に喜ばれています。しかし、年末年始の需要に対応するために早く促成を始めると安定的に花を咲かせることができませんでした。その原因は、低温にあたる期間が短いためサクラが目覚めないことにある、と推測しました。

そこで、シアナミドという薬品を使ってサクラの開花を促成する技術を開発しました。シアナミドには植物の目覚めを早める作用があります。この結果、「啓翁桜」の12月中旬出荷が可能になり、年末からお正月にかけて觀賞できるようになりました。埼玉県内の一部ですでに出荷は始まっています。



シアナミド処理後の促成で開花したサクラ「啓翁桜」  
(促成開始：平成18年12月8日、開花日：12月25日)

シアナミド0.43%処理により12月中に開花します。無処理に比べて高い商品性のものが得られます。

12月15日頃の出荷には11月25日頃、12月25日頃の出荷には12月10日頃に促成を始める必要があります。

この技術により、サクラ「啓翁桜」は年末からお正月にかけて出荷することが可能となりました。

シアナミドは商品名ヒット13を使用しました。平成19年3月に適用拡大され、サクラの開花促成に使えるようになりました。

( 森林・緑化研究所 森林・緑化担当 TEL 048-536-0347 )